

立山電化工業(株)

殿

発行日： 2015年7月13日

整理No： 47F-07-005

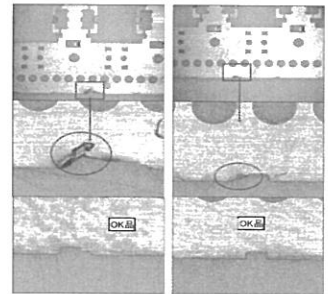
## 協力工場 不良品連絡書

再発防止のため対策を記入の上、指定回答日までに原本を提出して下さい。

指定回答日： 2015年08月26日

承認	調査	担当
黒岩 15.7.13 映次	和田 15.7.13 哲夫	和田 15.7.13 哲夫

仕様番号	G-109773
品名	BB35C-PLT22AA3-550E-DLF
金型番号	P6265
ロットNo	15.05.13.2.D.0024
連絡受理日	2015/07/13 10:55:13
対象数量	51,000

不良内容  
サイドカット変形

## 1. 確認内容

別紙参照

## 返却品の処置（数量明記）

返却品はありません。

## 2. 発生原因

別紙参照

## 4. 流出原因

別紙参照

## 3. 発生防止対策

別紙参照

## 5. 流出防止対策

別紙参照

実施日：2015年 7 月 13 日

実施日：2015年 7 月 13 日

## 在庫品仕掛品の確認

在庫品

0

仕掛品

0

標準類改訂 有・(無) ( )

回答日： 2015年 7月 13日

承認	調査	作成
下村	浜浦	吉岡

確認

原因特定していませんが、発生は対象ロットで、ため対策的発生  
と考えられ、有効性評価を実施し、和用  
対策後、15.07.15、1.C.0001~15.07.18、2.K.0035の  
3TSカットにおいて同不良ない為、有効性ありと判断します

承認	調査	確認者
黒岩 15.8.27 映次	和田 15.8.27 哲夫	和田 15.8.27 哲夫

(株) 鈴木

Rev : B

SQM-1001C-4 未

印刷者:和田 哲夫

印刷日時:2015/10/19(月) 09:39

送信者: yoshioka@tateyamadenka.co.jp 送信日時:2015/07/03(金) 17:24  
件名: RE: BB35Cプラタブ キャリア変形のご連絡

株式会社鈴木  
品質保証部 和田様

日頃より大変お世話になっております。  
立山電化工業㈱ 吉岡です。

ご連絡が遅くなりまして、申し訳ありません。

ご提供頂いた不具合現品についてリール内の確認を行いました。  
結果、めっき済みリール最内周部に1m程度同様のキャリア変形  
が確認できました。

弊社キープサンプル確認からも、該当リール最内周側のサンプル  
のみの発見でありました。また、該当リールはリール内切れが1箇所  
ありますが、貴社にて切れ部分まで使用頂く間に同様の変形発生  
があったとのこと報告もないため、リール内での発生箇所としては下記に  
限定できるものと判断します。

15.05.13.2.D-0024(79150612-0012)キャリア変形箇所  
→めっき済みリール状態で  
最内周部～切れ部分まで

発生原因については、下記メール内容にもあります通り、現品状態から  
Niめっき前での変形発生と推測されますが、めっき処理中は変形している  
側の端面は搬送状態で上側になり、フリーな状態のため製品負荷も少なく  
ライン内で強く擦れを起こすといったことも考え難いと判断します。

また、該当不具合サンプルではキャリアが切れているように見受けられ  
ますが、他製品も含み、これまで同様の現象は経験がありません。

このため、大変申し訳ありませんが、今回のキャリア変形の原因については  
弊社では分かり兼ねます。

以上、簡単ではありますが、上記をもって調査報告とさせて頂きたいと  
思います。

=====

立山電化工業株式会社  
品質保証部 品質管理課 吉岡 翔時  
〒933-0251 富山県射水市有磯2-33-1  
Tel:0766-86-0567 Fax:0766-86-2555  
<mailto:yoshioka@tateyamadenka.co.jp>

=====

> -----Original Message-----

> From: wada@suzukinet.co.jp [<mailto:wada@suzukinet.co.jp>]

> Sent: Friday, July 03, 2015 12:57 PM

> To: C211-吉岡 翔時

> Cc: C211-本瀬 一輝; C212-吉田 治彦; C211-浜浦 治史; C200-下村 正幸

> Subject: Re: BB35Cプラタブ キャリア変形のご連絡

>  
> 立山電化工業株式会社  
> 吉岡様  
>  
> 先日はお世話になりました。  
> 月曜日、よろしくお願い致します。  
>  
> 表題の不具合の件ですが、  
> 弊社履歴を確認しましたが、該当リールで、数量カウンターの設定ミスでカットしておりましたが  
> 直接変形に関わるようなものではございませんでした。  
> また弊社で該当部に接触するのは画像のみとなっており、  
> 目視確認したところでは異常は無さそうです。  
>  
> 先日持ち込んだリールのほう確認結果はいかがでしょう？  
> 途中経過でも構いませんので情報ございましたらご連絡頂きたいお願い致します。  
> (株)鈴木 和田  
>  
>  
>  
>  
> -----Original Message-----  
> 送信者: yoshioka@tateyamadenka.co.jp  
> 送信日時: 2015/06/30(火) 18:39  
> To: <wada@suzukinet.co.jp>  
> Cc: <motose@tateyamadenka.co.jp>,  
> <yoshida@tateyamadenka.co.jp>, <hamaura@tateyamadenka.co.jp>,  
> <snimomura@tateyamadenka.co.jp>  
> 件名: RE: BB35Cプラタブ キャリア変形のご連絡  
>  
>  
> 株式会社鈴木  
> 品質保証部 和田様  
>  
> 巨額より大変お世話になっております。  
> 立山電化工業(株) 吉岡です。  
>  
> ご連絡頂きました下記内容について、社内調査を行いましたのでご報告  
> させていただきます。  
>  
>  
> 異常連絡品 BB35C-PLT22AA3-550E-DLF  
> 異常ロット 15.05.13.2.D-J024(79150612-0012) 1RL  
>  
>  
> まず、加工履歴を調査したところ、該当日掲題品の加工を計21RL分  
> 行っていましたが、生産スケジュールの都合から11RL目で一旦生産を  
> 止め、12RL目(ご連絡リール)から再稼動しておりました。  
> しかし、この再稼動の際にリール先頭部でローラー外れが発生し、  
> ライン停止したため、ライン内で搬送していた分(約8.000pin)を全廃棄し、  
> その後改めて再稼動しておりました。  
>  
> この際、ライン停止分についてはリール先頭部から全数廃棄処置して  
> いるため、リール内にこの異常分のサンプルが混入することはないため  
> 今回の異常内容とライン停止は関係性ないものと判断します。  
>  
>  
> 次いで、弊社キープサンプルを確認したところ、ご提供頂きました状態  
> 写真同様の端子を発見致しました。程度が大きいものではキャリア部が  
> 切断されたような状態が確認出来ました。また、異常部を破断面方向から

